

高岡市立博物館に親しむ会

KA JI MARU 鍛冶丸

第6号

平成28年
10月1日



平成28年度 高岡市立博物館に親しむ会 総会

平成28年4月26日（火） 博物館3階講堂



樽谷 研修部会長
平成28年度事業説明



神保 副会長
講演会「絵葉書に見る懐かしい高岡散歩」
（総会 終了後）

主な内容

- ・ シリーズ「高岡古城公園」の魅力 最終回 2
- ・ 歩く博物館「城端曳山と高岡御車山」の縁 3
- ・ 近代文化遺産としての絵葉書 4～5
- ・ 高岡市立博物館に親しむ会役員名簿、会員募集のご案内 6

年間84万人も訪れるすばらしい都市公園

高岡市立博物館に親しむ会 会員・やまたちばな参与 沢田 健寿

日本の都市公園100選に

古城公園は市街地の真中にありながら四季折々のすばらしい自然の姿をみせてくれます。春は桜、夏は緑滴る青葉、秋は紅葉、そして冬は雪景色……。あまり手を加えない、自然のままの樹木、野鳥の鳴き声が響き、絶好の散策コースや歴史を物語る見どころ探究コースがいくつもあります。

明丸の動物園は無料開放、子どもたちの楽しみの場です。本丸や小竹藪の芝生広場は誰でも自由に使えます。(下記写真参照) 公園を会場にしたイベントも春の「高岡桜まつり」、秋の「万葉集全20巻朗唱の会」をはじめ多彩です。

昨年の来場者は84万人を超え、市外や県外からの観光客も多く、まさに都市公園の見本です。1989年(平成元年)緑の文明学会と日本公園緑地協会が「日本の都市公園100選」に選定しました。

城跡 二度の危機と保存の努力

古城公園には二度の危機がありました。まずは1615年(元和元年)一国一城令によって廃城になったことです。これに対して3代加賀藩主利常をはじめ、歴代藩主が高岡城跡を保存するため、いろいろな策を実行してきたようです。それにより水堀と曲輪や土塁(一部)が築城時のまま残っているといえます。

二度目は1872年(明治5年)廃藩置県後の民間払い下げの決定です。落札者も決まり崩壊寸前の状況でした。これに対し、高岡町民から公園指定請願運動が起きました。当時27歳で第十七大区区长(現在の高岡市長に相当)であった服部嘉十郎が中心となって公園指定請願書(下記資料参照)を新川県(現在の富山県)に提出、その苦勞が実り1875年(明治8年)正式に高岡公園として指定されたのです。嘉十郎がいなければ城跡は農地になっていたことでしょう。服部嘉十郎先生頌徳碑が中の島中央に1955年(昭和30年)公園指定80周年を記念して建立されました。このような先人の努力を忘れることはできません。

古城公園を再発見しましょう

私達は「灯台下暗し」になってはいけません。古城公園を長年ガイドしていて地元高岡市民から「こんなすばらしい公園だとは知らなかった」という感想をよく聞きます。何回も公園へ出かけているのにあまりにも見慣れているせいか、そのすばらしさに無感動になっていませんか。

高岡古城公園は「都市」、「さくら」、「水」、「名城」、「歴史」と5つもの日本100選を持ち、さらに昨年「国史跡」にも指定されました。こんな肩書を持つ公園は他にあるでしょうか。全国に誇れる文化遺産であり高岡の宝です。



小竹藪広場で花見を楽しむ人たち



高岡公園指定請願書(案) 明治7年(1874)7月
高岡市立博物館発行『高岡城』より転載



中の島・服部嘉十郎先生頌徳碑



「城端曳山と高岡御車山」の縁

= 見て・聞く・話す =

高岡市立博物館に親しむ会 会員 吉田 孝

★**高岡駅から城端駅** 初めて「高岡市立博物館に親しむ会 歩く博物館」に参加。午前8時45分高岡駅に集合し、参加者36名揃ったところで、高岡駅9時1分発の列車に乗り、城端駅に向かう。9時53分着、駅は曳山祭りで沢山の人だらきだった。

★**城端町を散策** 駅より国道304号を左に東方面、樽谷先生は先頭で早足に歩く。延命地蔵が「かまてん坂」にあったものを、現在の^{でまるまち}出丸町に移転されたという。この地蔵は、高岡から放生津・石動・城端の曳山差し止めの申し出があつて取り調べを受けることになり、老齡の為に代理に息子を出した父親が一行の無事を祈って造られたという。この曳山騒動によって、高岡以外では曳山に大八車様式の輻車^{やぐるま}が禁止され、地車を用いるよう通達された。曳山車の使用に制約が設けられた為、城端では新しい御神像の制作や曳山の装飾に力を入れ、明治に入っても工夫改善し、現在の絢爛豪華な曳山になったという。

★**獅子舞** 曳山のない南町^{のげまち}・野下町の2箇所の町内では、悪霊をしずめるのに威力があるといわれる獅子舞を始めたそう。また樽谷先生は砺波獅子ではないかと言われた。^{かさぼこ}傘鉾、神輿、庵屋台・曳山が続く、華麗な行列が私達を丁度迎えてくれた。西町通り坂の所望宿では、豪華な屏風を飾り、親戚知人を招き、6箇町の庵屋台を迎え、庵唄が披露されていた。所望宿は一生に一度しか迎えることが出来ない^{と聞いた}。

★**城端別院善徳寺** ここの前で、行列が勢揃いし、傘鉾・庵屋台・曳山をじっくり見ることが出来た。若い観光客の方に声をかけたが、通じなかった。アジア系であった。新幹線のお陰で、世界各地から来易くなった。城端曳山行列は3基の神輿を獅子舞^{けんぼこ}・傘鉾・傘鉾等が先導し、庵屋台・曳山をお供に巡行するという古い神迎え行列の形式を現在まで残していることから、国の重要無形民俗文化財に指定されている。祭りの日以外は城端曳山会館に展示されている。

◆**城端駅** 12時30分全員集合。帰りの列車の中では、太田会長、樽谷先生、晒谷前館長、中尾元副館長らを囲み沢山のお話がかわされた。「高岡御車山を各地があこがれ、財力がついた地域に広がった」、「江戸時代だからこそ、同じものは許さんぞ、それがまた、各地の曳山を発展させることになった」等々。お天気も良く、楽しい一日であった。



城端有音塚



芭蕉塚



近代文化遺産としての絵葉書

高岡市立博物館に親しむ会 副会長 神保 成伍

◆私製絵はがきの誕生（明治33年）

絵葉書はラジオはもとよりテレビも未だなかった頃、安価で身近な情報源でした。

明治33年10月、郵便制度の改正があり私製はがきの発行が認可されます。

郵便規則第18条「政府ノ発行スル通常郵便物ト同一寸法及紙質ニシテ・・・、同額ノ郵便切手ヲ貼付シタル私製葉書ハ通常葉書ト看做ス」。これにより「絵葉書」の製作と使用が始まります。最初の絵葉書に関しては諸説がありますが、児童文学作家で明治文化研究家の石井研堂著『明治事物起源』には明治33年10月発行の『今世少年』付録のシャボン玉を吹く二人の少年の絵葉書であると紹介されています。そしてこの絵葉書が、平成17年6月24日付けの朝日新聞大阪版の紙面でも掲載され、日本絵葉書文化の出発点を語る幻の絵葉書として大きな反響を呼びました。

◆官製はがきの発行（明治35年）

私製絵はがきの流通と共にその収集もはやり始め、印刷工場や絵葉書専門店も急増しました。江戸時代の刷物に代わる新趣味として浸透していきます。

このような動きを受けて明治35年6月官製絵葉書が発行されます。逓信省が手がけた第1号は、「万国郵便連合加盟25季祝典記念絵葉書」で石版単色刷、6種1組が5銭で販売されました。これが官製絵葉書の先駆となって「日本赤十字社創立記念絵葉書」など次々と記念ものが発行されていきます。ちなみに当時の物価を見ると、そば1銭8里、天井8銭でした。



越中伏木港（明治末～大正前期）

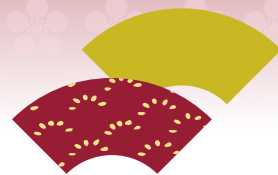
◆絵はがきブーム到来（明治末～大正）

明治37年2月に始まった日露戦争は、期せずして絵葉書ブームに火をつけました。その年の9月、逓信省から「第1回戦役記念絵葉書」5枚1組12銭が販売されると、買い求める人々が各郵便局へ殺到し負傷者が続出しました。神田万世橋郵便局では死者を出しています。その後も戦局の様子や凱旋式典・凱旋行進などを題材とした絵葉書が発行されます。

官製、私製共に「御大礼記念」、「日英博覧会記念」など国家的祝祭や式典をテーマとした絵葉書が次々に販売され、戦地への慰問袋にも詰められたり、交換会や同好会が結成され、専門誌の発刊、展覧会の開催など、絵葉書への関心が全国的に広がり絵葉書の整理保存用に専用のアルバムが販売されています。



中止となった日本万国博覧会（昭和15年）



◆絵葉書人気の終焉（昭和15年）

大正期にはまだカラー写真は無く、絵葉書のほとんどはモノクロ写真ですが、それに特殊インクで手彩色されたカラー版も発行されています。

しかし、大正12年9月1日、明治以降最大の被害をもたらした関東大震災は、多くの絵葉書製作所や販売所を一瞬にして廃業に追い込み、絵葉書ブームも少しずつ下火になりました。それでも廃墟と化した東京のモノクロ写真に、燃え盛る紅蓮の炎を赤く手彩色した絵葉書が販売されています。

次いで太平洋戦争前夜の昭和15年、軍事機密保護法の改正により俯瞰撮影が禁止され、俯瞰構図の既存印刷物や絵葉書も官憲により没収され、明治以来の絵葉書収集熱も姿を消しました。

◆近代日本のビジュアルメディア

絵葉書を大まかに分類すると、観光名所・史跡・神社仏閣・記念行事・美人図・企業広告など多岐にわたり、時には震災・水害・事故などもテーマとなりました。居ながらにして、遠くの出来事や風物を知ることができる速報版です。

また、郵便葉書としての絵葉書は、はじめ住所氏名のみで近況などを書き込む通信欄がなく、文書を書くくと罰金が発生しました。その後、多くの要望を受け明治40年に改正され、絵葉書の表面下部1/3を通信欄とし、さらに大正7年からは通信欄が1/2に拡大されました。このことから、通信欄の大きさによりおおよその発行年代を推し量ることが出来ます。

ビジュアルメディアの発達していなかった近代の絵葉書は、失われた都市風景や暮らしの移り変わり、また悲惨な災害の様子なども今に伝えてくれる貴重な歴史・文化遺産といえます。



芝浦方面震災の惨状（大正末期）



高岡ステーション前（大正末～昭和初期）



高岡桜馬場公園入口（大正末～昭和初期）

（平成28年4月26日開催の当会総会の講演要旨）

高岡市立博物館に親しむ会役員名簿 (平成27～28年度) 敬称略

役 職	氏 名	所 属	備 考
顧 問	高田 克宏	高岡市立博物館館長・高岡市教育委員会教育次長	*平成28年度新規
会 長	太田 久夫	富山県郷土史会会長	
副会長	多田 慎一	裏千家淡交会高岡支部副支部長	
〃	神保 成伍	元高岡市立博物館館長	企画運営委員長
〃	晒谷 和子	前高岡市立博物館館長	
幹 事	荒俣 勝行	美術コレクター	
〃	稲塚 幸枝	高岡市美術館友の会監査	
〃	宇波 真一郎	高岡古城ライオンズクラブ	
〃	岡田 有弘	岡田美術店	
〃	清水 静子	観光ガイドボランティアグループ「あいの風」	
〃	立野井 亮	高岡商工会議所青年部理事	
〃	樽谷 雅好	(公財)高岡市民文化振興事業団評議員	研修部会長
〃	古谷 昭史	めんぼう美術	
〃	水上 悦子	版画家	
〃	近藤 昭美	裏千家正教授	ワークショップ部会長
〃	般若 慎一郎	金屋町まちづくり協議会会長	広報部会長
監 事	水野 俊雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」	
〃	中尾 光博	高岡市立博物館に親しむ会元事務局長	

● 平成28年度 会員募集のご案内 ●

高岡市立博物館に親しむ会では、随時会員を募集しています。博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行います。あなたも会員となって、郷土への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりに参加してみませんか。

■年会費

・一般会員 1口 1,000円 ・賛助会員 1口 5,000円

■会員の特典

- ・企画展、特別展、講演会などのご案内
- ・歩く博物館行事への参加、高岡古文書ボランティアでの活動、呈茶席などのご案内
- ・会報誌「鍛冶丸」の送付 ・郷土学習講座等の受講料割引 ・図録の進呈(賛助会員のみ)

■申込方法

入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えて「高岡市立博物館に親しむ会」事務局へお申込みください。入会申込書は「高岡市立博物館に親しむ会」のホームページに掲載しております。

親しむ会各種部会のメンバーを募集しています。

1. 研修部会 事業企画、歩く博物館等サポート
2. 広報部会 会報誌「鍛冶丸」の作成
3. ワークショップ部会 呈茶席運営・サポート
4. 高岡古文書ボランティア部会 古文書の整理等

高岡市立博物館に親しむ会 会報第6号

■事務局 〒933-0044 高岡市古城1-5 高岡市立博物館内

TEL 0766-20-1572 FAX 0766-20-1570

HPアドレス <http://www.e-tmm.info/> メールアドレス info@e-tmm.info